

根っこづくり

本校の周りにも大地にしっかりと根を下ろした大樹が何本もあります。大樹が見事な葉を広げている学校は風格さえ感じます。大樹は幹と枝葉は見えますが、どれほどの根が張り巡らされているのか分かりません。立派な大樹は良樹ですが、細根を地中深く張りめぐらせているから堂々と立っているのだと考えます。根っこがしっかりしていないと十分な栄養と水分を吸収することもできず成長することもできません。高校生も同様に目に見えない根っこが重要です。目に見える表面的なことにこだわると、高校時代は人間

の土台となる根っこを張り巡らした「良樹細根」を目指して欲しいと考えます。さて、本校の一日の始まりは「朝の10分間読書」です。毎日、生徒諸君の取り組む様子を見てみると、真剣に取り組んでいる生徒とそうでない一部の生徒の差に驚かされます。毎日、心を落ち着けて、考える読書が続けていけば、思考力・判断力がつき、生活と学びの基盤の日本語力も向上してきます。読書は人間の「根っこ」づくりです。根の関連の言葉に「根性」「根幹」「性根」「心根」等があります。根性も大切ですが、生きる根幹の心根・性根をしっかりとらせる読書をおして確かな日本語力を身につけていって欲しいものです。

○12月の言葉

誰にもチャンスは平等に巡ってくる。逃さないことだ。

○語彙力チエック

①「口耳を執る」「口耳る」の口に正しい漢字を入れよ。

A馬 B牛 C鬼 D驢馬

②「旧套墨守」の正しい意味は。

A長大な旧跡をつぶすこと

B古い歴史を改ざんすること

C古い慣習などを頑固に守って改めないこと

③「饗応」の正しい読みは。

Aきょうおう Bしょくおう

Cじきおう

④「狂気の」に続く言葉は。

A徒勞 B沙汰 C末

⑤「矜恃」の正しい読みは。

Aきょうじ Bきんたい

Cきんじ Dこんじ

(解答) ①B ②C ③A

④B ⑤A

○36号の正解は「ねこのこねこししのこじし」